ぶるべー スタジオ　機能と使い方のご案内

小平市マスコットキャラクタ「ぶるべー」3Dスタジオ（確認用）／作成: 安竹洋平

ぶるべーの3Dモデルを、ブラウザで自由に動かして画像を作れる「ぶるべー スタジオ」を作りました。

このスタジオの内容と、利用者にお示しする予定の注意書きを、次のとおりまとめました。もし「この機能はNG」「この使い方は困る」という点があれば、お知らせください。機能の削除など対応いたします。

- **想定している使い方**（「1. 想定している使い方」）
- **利用者へお示しする注意書き**（「2. 利用者への注意書き」）
- **主な機能**（「4. 機能一覧」）

1. 想定している使い方

このスタジオは、次のような使われ方を想定しています。

- 不特定多数の方が、ぶるべーのモデルを自由に使い、ポーズを変えたり表情をつけたりして、画像として保存する。
- 保存した画像を、SNS への投稿、チラシ・ポスター・スライドなどの資料に活用する。
- 小平市の名所で、ぶるべーと一緒に写る（記念写真のように使う）。
- 写真の中に小さなぶるべーを紛れ込ませて「ぶるべーを探せ！」として SNS に投稿する。
- 小平市の名所を紹介する図や案内などに使う。
- 小物（ベッド・布団・演台・マイク・看板など）や背景を組み合わせて、場面を組み立てる。
- 眼鏡やサングラス、帽子や服（未実装）を装着して、コスプレのように使う。

ほかにも、次のような使い方が考えられます（案）。

- 自治会・学校・イベントのチラシ、ポスター、お知らせづくり。
- 会議資料やスライドの挿絵（市の事業や行事の紹介）。
- 卒業・入学・季節のあいさつ状など、行事に合わせた画像づくり。
- SNS のアイコンやヘッダ画像。
- クイズや塗り絵など、教材・レクリエーションへの活用。

「ぶるべーを探せ！」の例

自分で作ったジオラマなどの中に、ぶるべーをこっそり紛れ込ませて、SNS で見つけてもらう、という使い方です。



自分で作ったジオラマの中に、小さなぶるべーを紛れ込ませた例



別のジオラマを使った例

写真の中の物の裏にぶるべーを隠したいときは、背景に写真を読み込んで「隠すマスク」機能を使います。隠したい物（木・建物・おもちゃなど）を写真の上でタップすると、その形に合わせてぶるべーが隠れます。



おもちゃの車が山積みになった中に、ぶるべーが顔を出している例

小平市の名所で一緒に写る例

小平市の名所を撮影し、その写真にぶるべーを一緒に写す、という使い方です。



小平市の名所の写真に、ぶるべーと一緒に写った例

2. 利用者への注意書き

スタジオを開いたとき、利用者に次の注意書きを表示します。この内容に問題がある場合も、お知らせください。

> このスタジオは、市政・政治活動とは関係のない個人的な制作物です。
>
> このスタジオで作成した画像などは、SNS への投稿を含め、自由に使っていただけます。ただし、商用利用やそのほか特殊な使い方をされる場合は、小平市の確認が必要ですので、このサイトのお問い合わせからご連絡ください。
>
> 次のような使い方はご遠慮ください。
>
> - 公序良俗に反する目的での利用
> - ぶるべーのイメージを損なうような利用（たとえば、攻撃的・差別的・性的・過激な利用、誹謗中傷など）
> - 反社会的勢力や違法行為に関わる利用
> - 政治的意図があるように見える利用（例：ぶるべーが特定の政治家や政党を応援しているような表現）
> - 特定の宗教・宗派への勧誘や布教と誤解される利用

- 小平市が公認・推薦・後援しているように見える利用（市の公式発表や公文書と誤認させる利用を含む）
- 特定の企業・商品・思想・団体を、ぶるべーや小平市が推薦・保証しているように見える利用
- 個人や団体への誹謗中傷、プライバシーの侵害、なりすまし

ぶるべーはしゃべらない、というのが小平市としてのルールです。そのため、このスタジオには、ぶるべーがしゃべる（セリフやフキダシを出す）機能はありません。利用時も、ぶるべーにはしゃべらせないようお願いいたします。

ぶるべー（キャラクタ）の著作権は小平市に帰属します。

このスタジオで使用している3Dモデルは、作者（安竹洋平）が自作したものです。モデルそのものの再配布・再利用はご遠慮ください。

3. 使い方（簡単に）

1. スタジオ（/bluebey-studio/）を開きます。
2. 右側（スマホでは下側）のパネルで、タブ「ポーズ／顔／見た目／シーン／書き出し」を切り替えながら、ポーズや表情を作ります。
3. 最後に「書き出し」タブから PNG を保存します。

パソコンでの操作

- ぶるべーをドラッグすると、カメラの中心が動いて、ぶるべーが画面の中を動きます（回転の中心はぶるべーのままなので、そのまま回転させてもぶるべーは画面から外れません）。
- Shift を押しながらドラッグすると、ぶるべー本体を移動できます。
- 右ドラッグでもカメラを動かせます。
- 回転の中心をぶるべーに合わせ直したいときは、ぶるべーをダブルクリックします（「シーン」タブの「画面・光」にある「中心をぶるべーに合わせる」でも同じです）。
- 向きは、全身とボーンのスライダーや回転ギズモで調整できます。
- モデルをクリックすると、その場所に近いボーンが選ばれます。
- 「元に戻す／やり直す（パネル上部の矢印アイコン）」は、どのタブでも使えます。

スマホでの操作

- **2本指でぐりぐり**：見ている基準点を動かします（ぶるべーは基準点から動きません）。
- **2本指でつまむ**：ズーム（寄る／引く）。

- **ぶるべーの上で1本指でぐりぐり**：ぶるべーを基準点から動かします。上下に動かすと高さも変わります。
- **何もない所で1本指でぐりぐり**：カメラが回ります。
- パネル（下のシート）は、上の横線（ハンドル）をドラッグすると上下に動かせます。メニューの外側をタップすると閉じます。

キーボード（パソコン）

- S PNG保存　C 画像をコピー　Tab パネルの表示切替　? ヘルプ
- 1–5 カメラの向き　R ポーズをリセット　G 回転ギズモ　Space 生きている演出の開始/停止

4. 機能一覧

ポーズ

メニュー	できること
ポーズ例	立ち・きおつけ・おじぎ・ふかくおじぎ・くびかしげ・てをふる・ばんざい・のびをする・ジャンプ・大ジャンプ・おどる・こてん・ねている・よこむき・うしろむき・右を紹介・左を紹介（17種類）
全身とボーンのスライダー	ボーンを選び、よこ（X）・たて（Y）・ねじり（Z）で関節を回せます。こまかい設定に、よこ移動・たて移動・おくゆき・回転ギズモの表示があります。
うごき	とまる／歩く／てをふる などの自動の動きに加え、「まばたきする」「ゆれる」「自動で回す」の切り替え。速さや間隔も変えられます。
操作（タブ最上部）	このボーンを戻す／ポーズを全部戻す／少しランダムに

顔

メニュー	できること
プリセット	ふつう・にっこり・たべている・ウインク・びっくり・ねぼけ・てれ・じと目・すき・むっと・ないてる（11パターン）
目	左右を連動させる／左右別々に設定。目の形は「ふつう／1線／2線／3線／3の目／わらう／ハート」。上まぶた・下まぶたの高さ、まぶたの形（曲線・直線）と太さ・傾き、まつげ（角度・位置）、白目を出す、光彩（瞳の白い丸）を出す、瞳・形の大きさ、目線（パッドをドラッグ）、涙を出す、ハートの色。

見る先	指定した場所を見る／目線がうごく／端末を傾けて見る
口	口の形は「ふつうの口／丸く開く（O）」。曲げ・長さ・幅・太さ・開き・傾き・高さ、口角（角度・長さ）、舌（大きさ・位置）、色。
眼鏡・サングラス	コスプレの一種として、眼鏡やサングラスをかけられます。フレームの太さ・色、レンズの色・濃さ、左右レンズの間隔、大きさ・高さ・傾き。
鼻ちょうちん	鼻ちょうちんを出す／出さない。大きさ・よこ位置・高さ・おくゆき・色。
帽子	なし／シルクハット／キャップ／コック帽／消防士。横位置・奥行き・高さ・前後の傾き・左右の傾き。線画にも対応。
タブ最下部	顔をランダムに／顔をリセット

見た目

メニュー	できること
スタイル	リアル／フラット／線画を切り替え。輪郭線を出す、線の太さ（体・手足、葉っぱ・鼻）、線の色、紙の色。「プリセットのスタイルに戻す」。
見た目の調整	左右反転、影を落とす、足もとの丸い影、接地影だけ、環境の映りこみ、明るさなど。「プリセットに戻す」。体の色を変える機能はありません。

シーン

メニュー	できること
背景	背景の色、自分の画像、単色、透明、写真背景（倉庫・広間・空と雲・秋の公園・学校・社長室・砂漠・海岸・無人島・土管のある空き地・宇宙船の中・廃工場の食堂・地下室のリング・自動車工場・路地）、効果線（集中線・楕円集中線など）。写真を読み込んだときは「隠すマスク」機能で、写真の中の物の形に合わせてぶるべーを隠せます。「この背景で写真を撮る」。
小物	演台・机・マイク・看板・観葉植物・段ボール箱・空いた缶詰・ベッド・布団・コップ・鉛筆・ノート・消しゴムを追加。看板には文字を入れられます。大きさ・位置・回転（X/Y/Z）。

擬音（マンガのオノマトペ）	画像から四角く切り出した擬音のスタンプを画面に貼れます。この機能は未実装ですが、想定しているオノマトペは、「グーグー」「zzz」「シーン」「ゴゴゴ」などです。ぶるべーがしゃべっていると思われるような擬音は作りません。
見えない壁	見えない板（有限の壁1・壁2）を置くと、その向こう側が隠れます。ぶるべーを壁に埋め込むと、体の一部だけが見えます。
画面・光	ひかり（光の向き・明るさ・環境光・光の色・環境光の色・露光）、照明の種類（スタジオ（明るい）／室内（自然な反射）／なし（のっぺり））、カメラ（見る高さ・向き・自動で回す・収める・正投影・遠近）。
画面の情報	描画の状況（大きさ・品質・fps）の表示。

書き出し

メニュー	できること
画像	PNGの大きさ（1〜4倍）、PNGの背景を透明にする、PNGを保存、クリップボードにコピー。
まんが	今の状態をコマとして追加し、列数・大きさを選んで、まんが（コマ割り）として書き出します。
共有	画像をシェア、Xで投稿、Facebookでシェア、この見た目のリンクをコピー。
設定	設定を保存（JSON）／設定を読み込む。

画像の保存は現在PNGのみですが、JPG形式での保存にも対応する予定です。

「元に戻す」「やり直す」は、どのタブを選んでいてもパネル上部に表示されます。

5. もし問題がある場合

上記の使い方や機能のうち、「これは避けてほしい」「この機能は外してほしい」というものがあれば、お知らせください。こちらで、その機能の削除や調整などの対応をします。

特に、次のような機能は、念のためお伝えしておきます。

- 眼鏡・サングラス（コスプレの一種としてかけられる）
- 目の表情（じと目・わらう・ハート・涙・まつげ・白目など）
- 口の表情（舌を出す表現を含む）
- 帽子（シルクハット・キャップ・コック帽・消防士）
- 鼻ちょうちん、倒れるポーズ（こてん・ねている）

- 小物（ベッド・布団など）
- 背景（写真の中の物の裏にぶるべーを隠すマスクを含む）、擬音（マンガのオノマトペ）、見えない壁、まんが

このページは、公開前の確認用です。

お問い合わせは、安竹洋平のサイトのお問い合わせフォーム（/contact/）までお願いします。